

市民モニタリングの結果について

NPO法人アサザ基金

安保 満貴

放射線？
放射能？

ベクレル？
シーベルト？



放射線の強さ(光の強さ)
ベクレル



人体に与える影響(日焼け等)
シーベルト

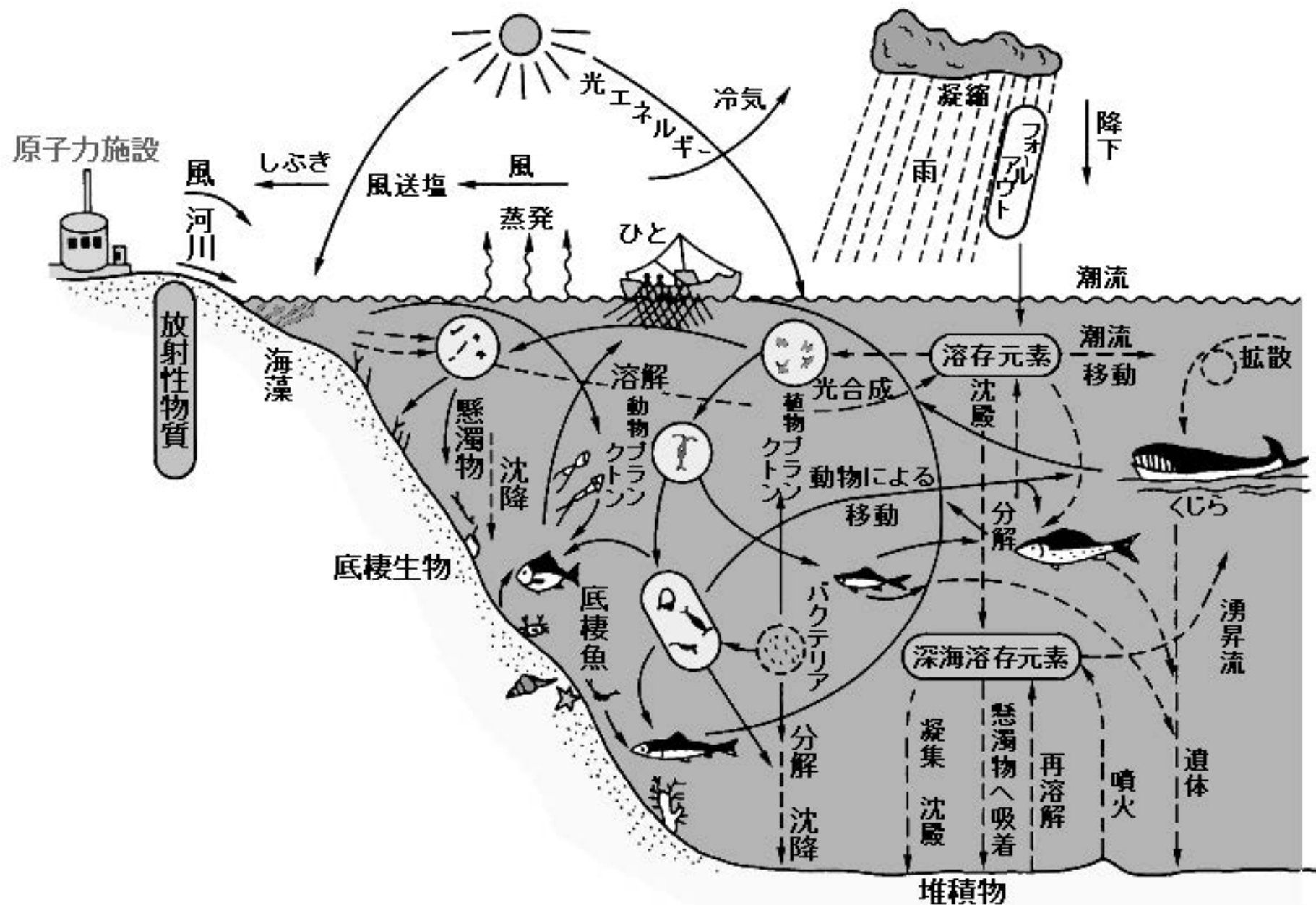


図1 放射性物質の海洋より人への移動

[出典] 佐伯誠道(編):「環境放射能」ソフトサイエンス社、(1984)

**56本もの河川が流入
(河川法の指定を
受けた河川のみ)**

他にも小河川や農業排水路などが点在している

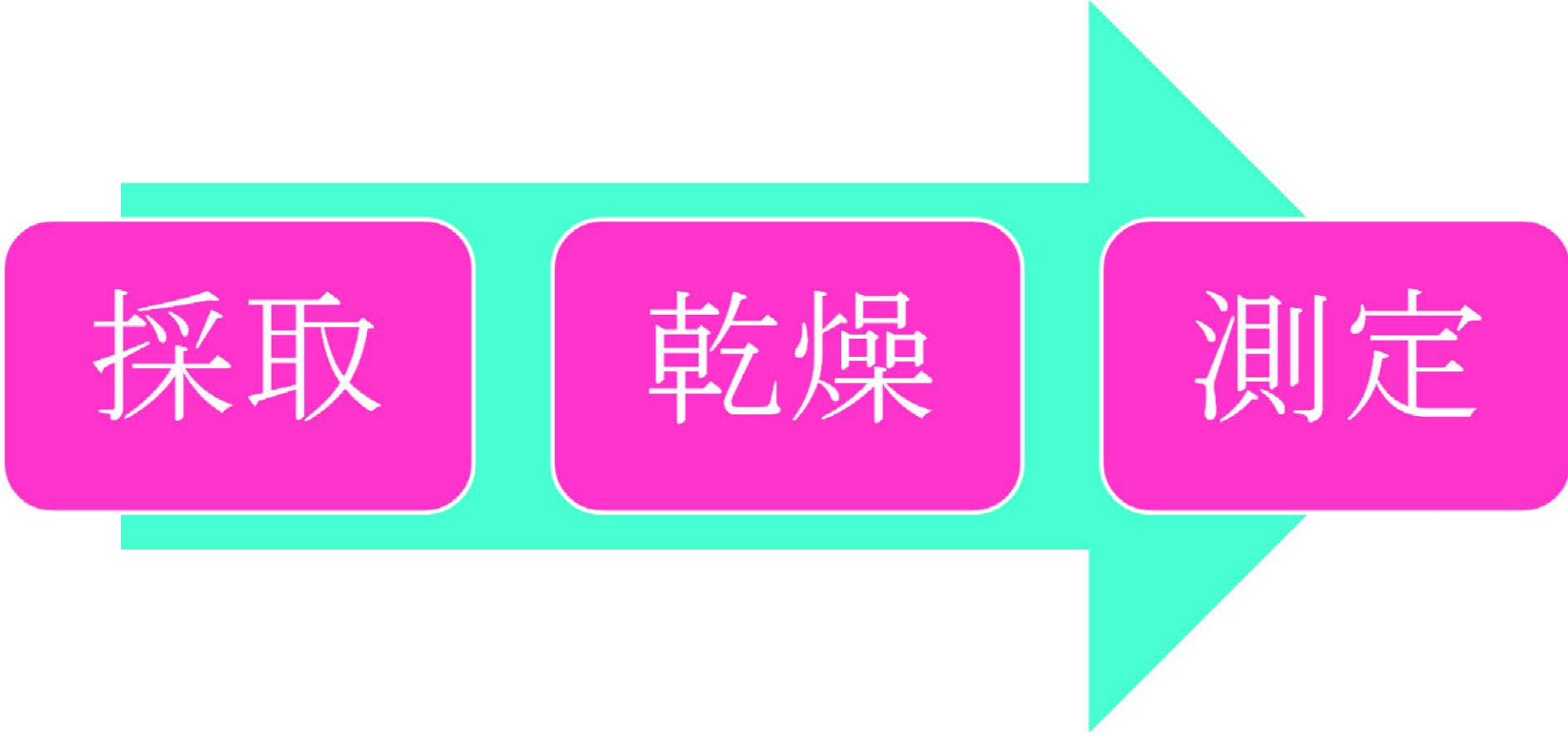
水の出口は
逆水門
1か所だけ



流入河川図 霞ヶ浦環境科学センターWEBより



調査の流れ



採取

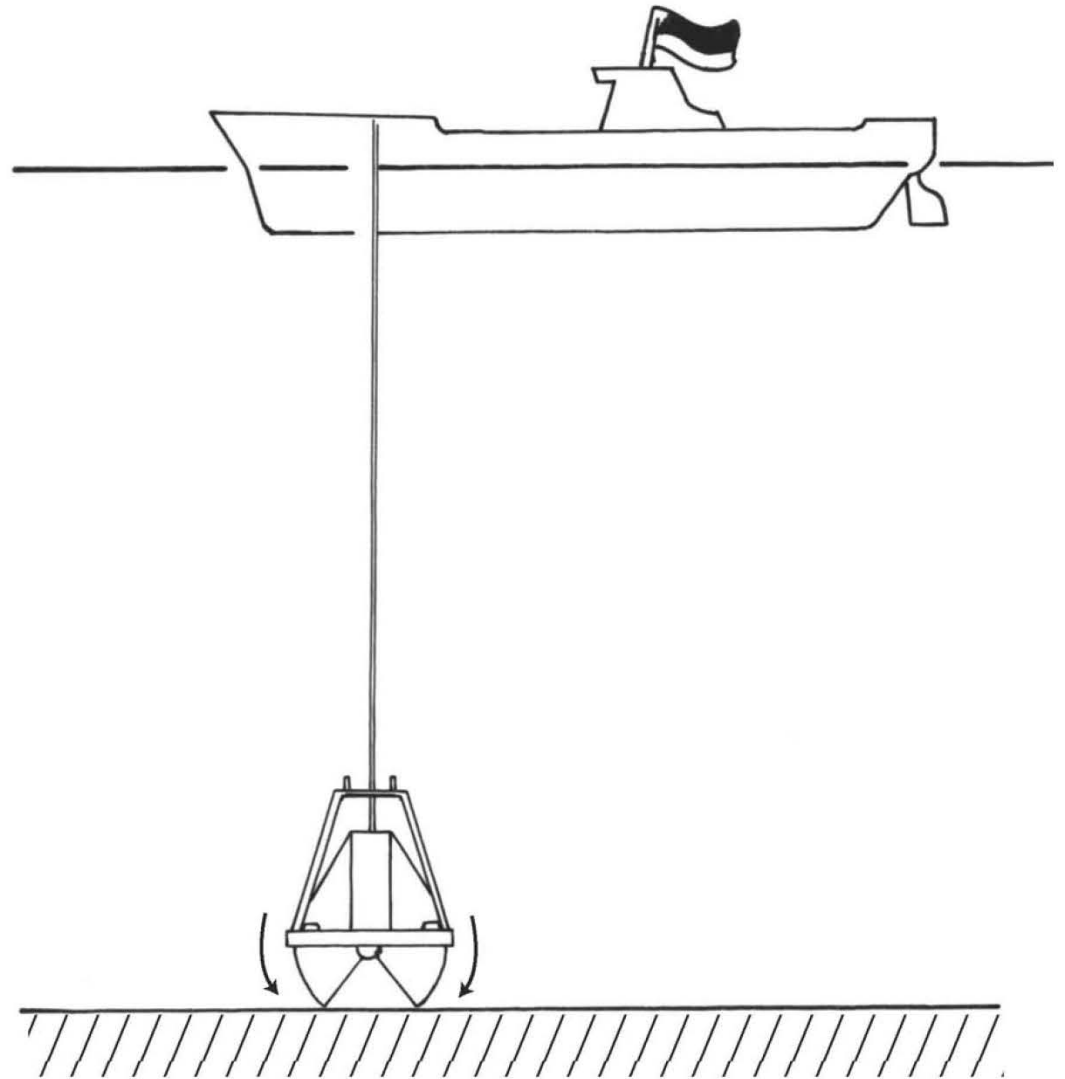
乾燥

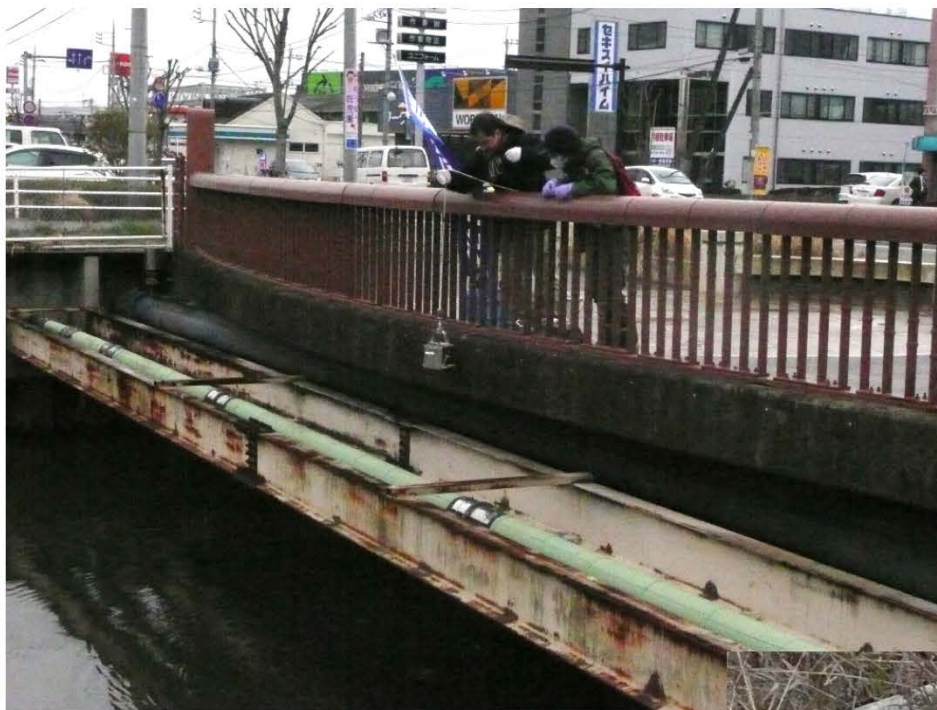
測定

川や湖の底の泥を採取するには、
写真のような採泥機を使います



① 採取





多くの場所では橋の上から
採泥機で採取します

① 採取





② 乾燥



③ 測定



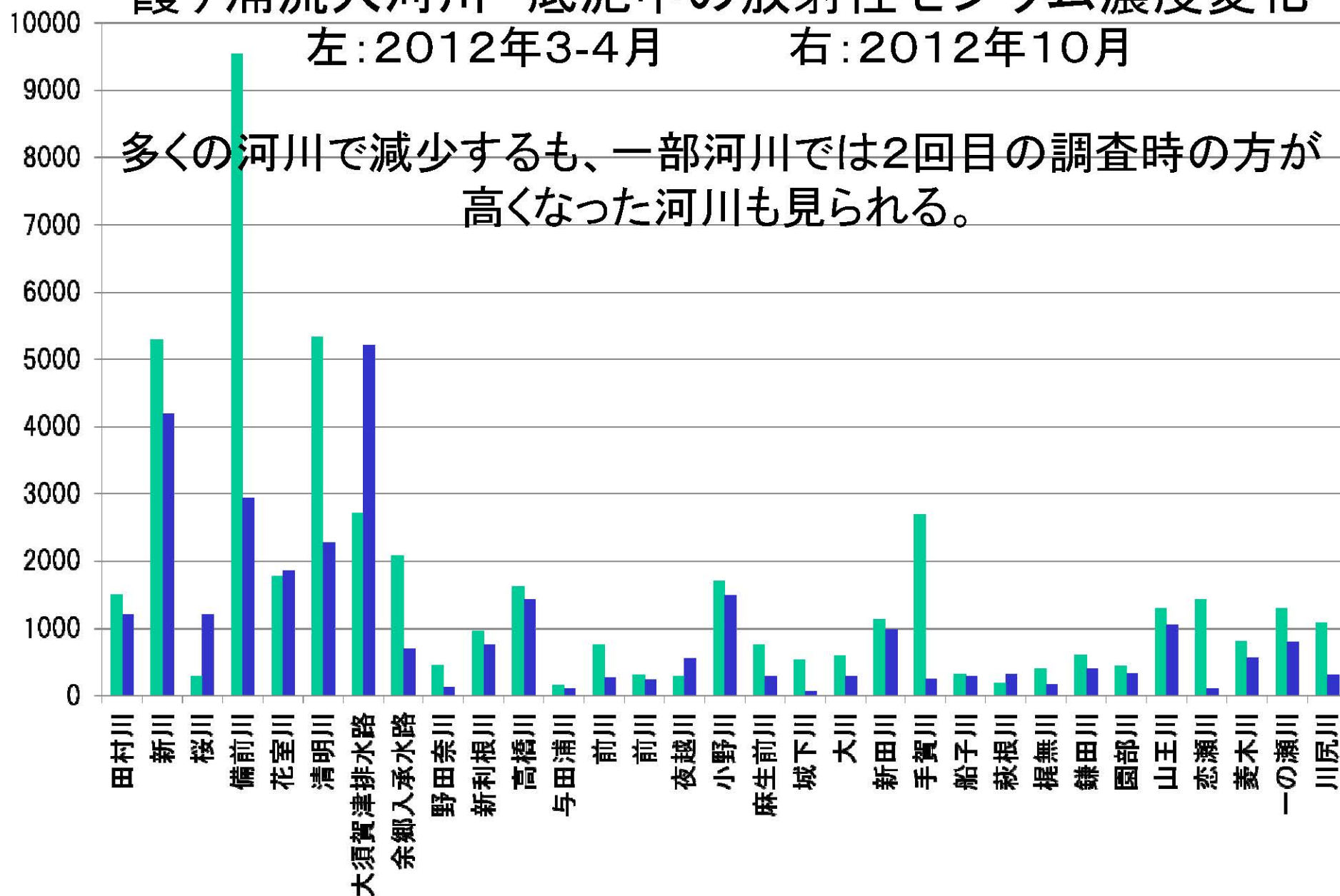
市民モニタリング

霞ヶ浦流入河川 底泥中の放射性セシウム濃度変化

左:2012年3-4月

右:2012年10月

多くの河川で減少するも、一部河川では2回目の調査時の方が高くなった河川も見られる。



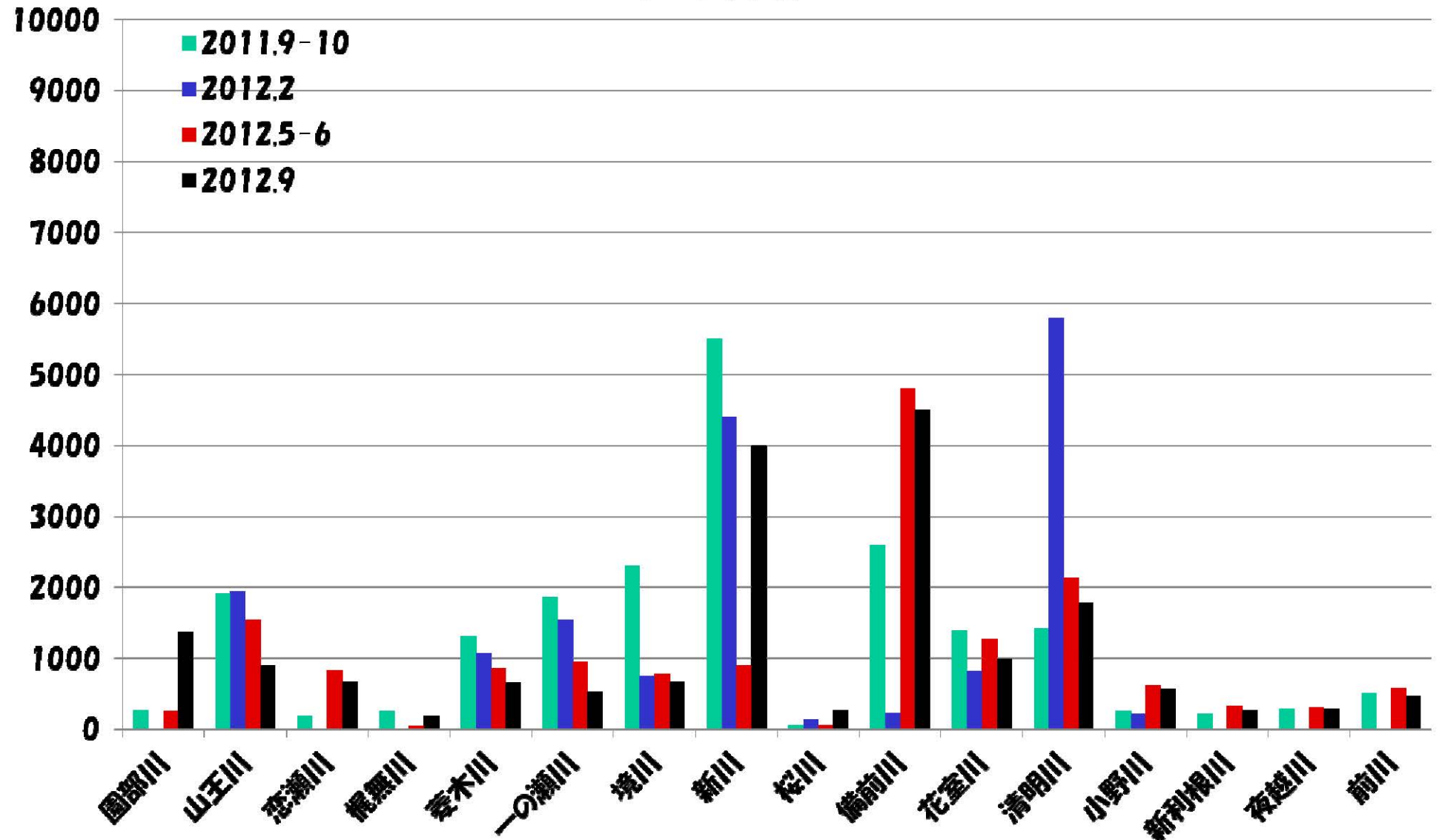


土地利用

- 田
- 畑
- 森林
- 荒地
- 市街地・宅地
- 道路
- その他
- 水面

環境省の調査結果

西浦



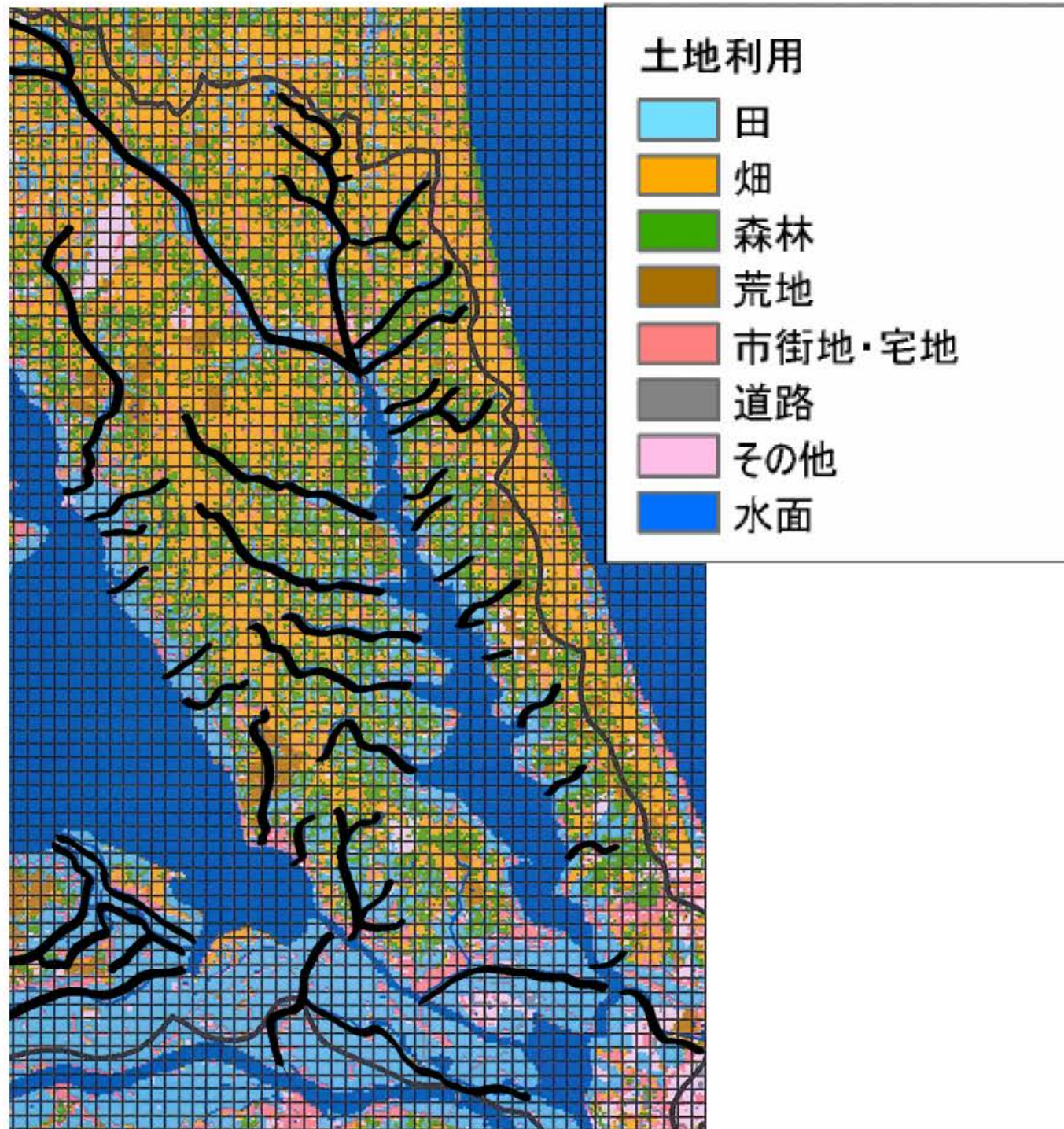
市民モニタリング 北浦流入河川 底泥中の放射性セシウム濃度の変化

左:2012年3-4月

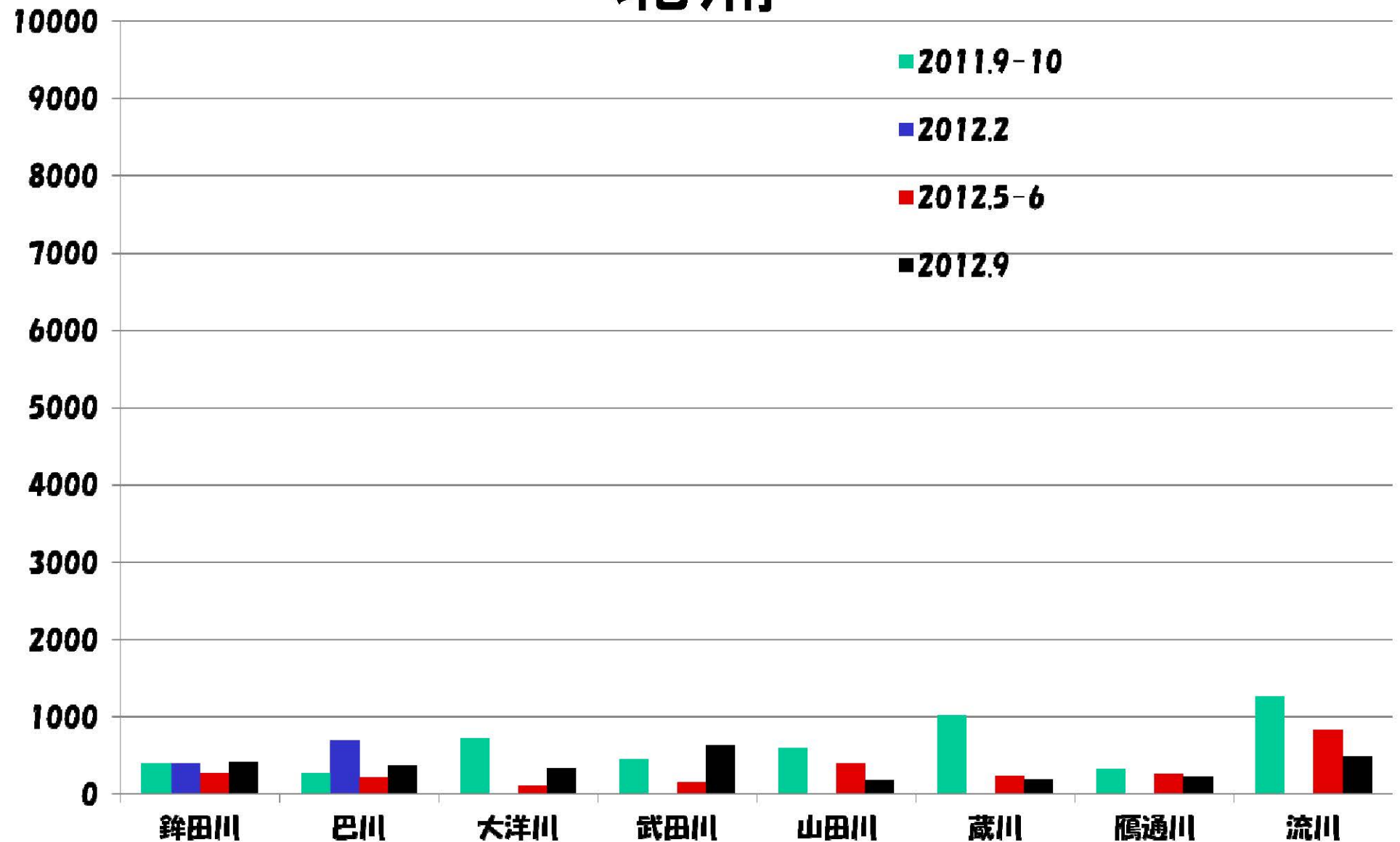
右:2012年10月

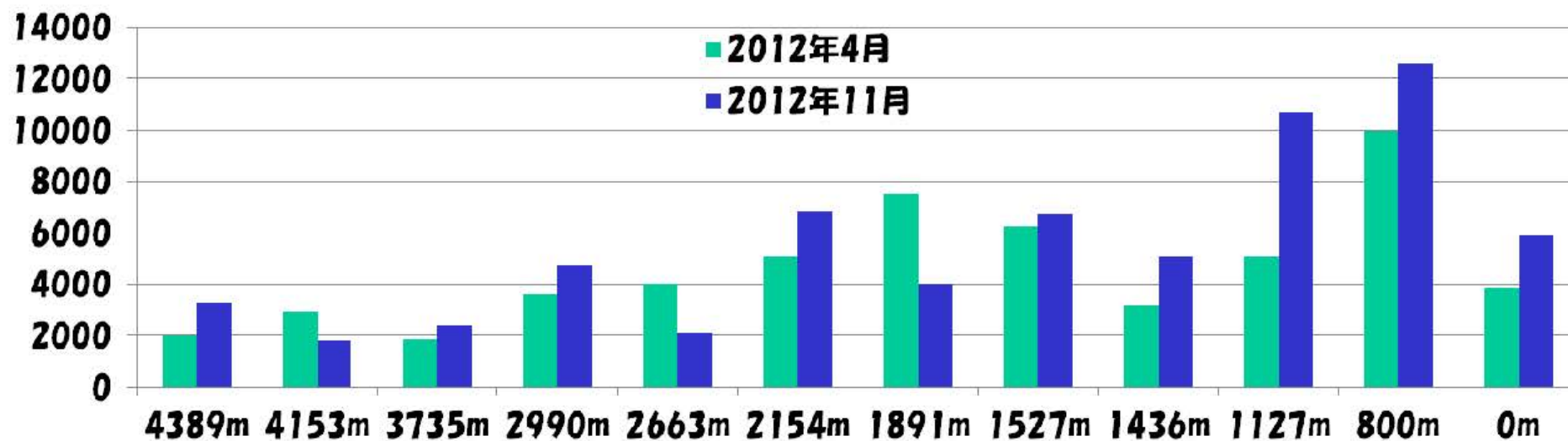
乙堀川や堀割川など4河川で2回目の調査時に
放射性セシウム濃度が上昇。
まだまだ予断を許さない状況であることが分かる。



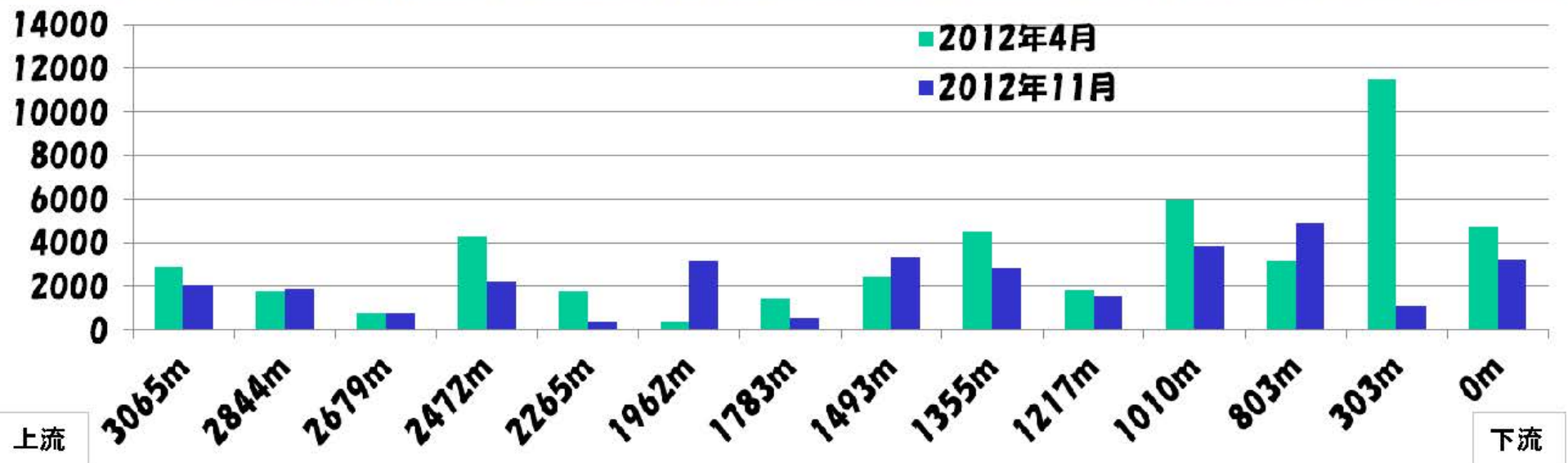


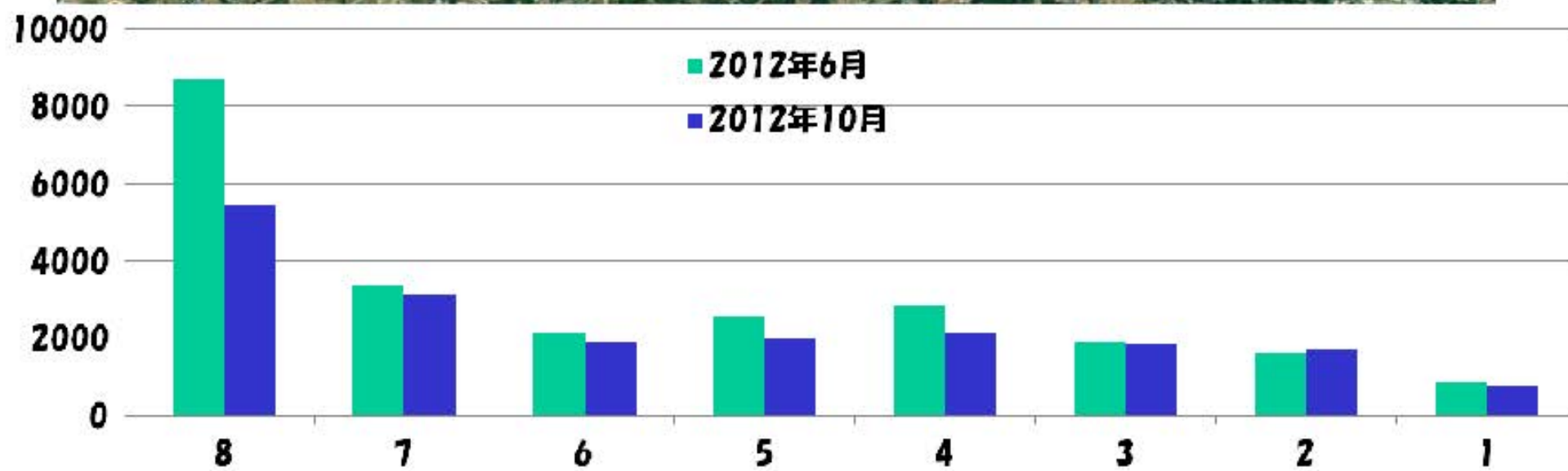
環境省の調査結果 北浦



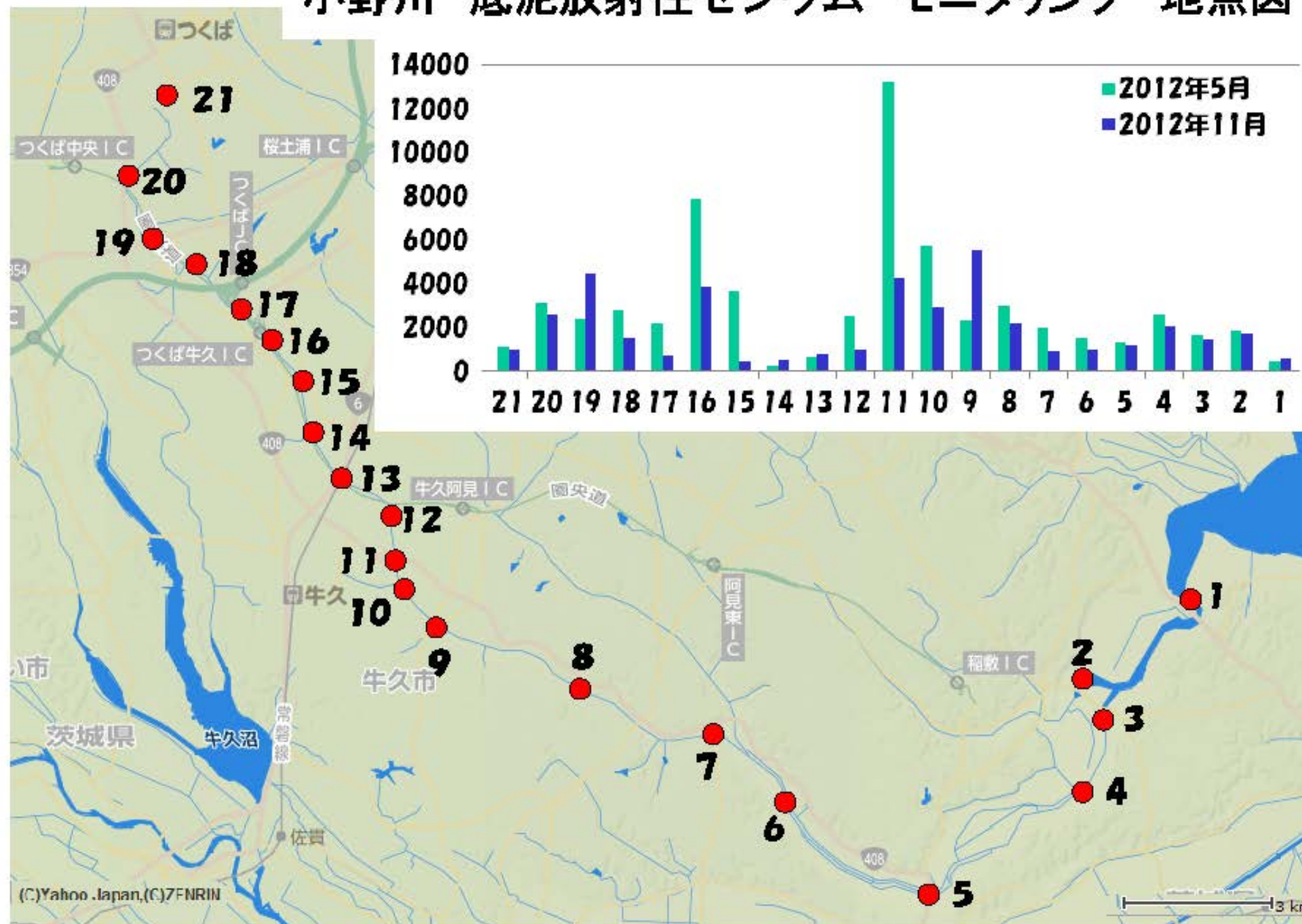


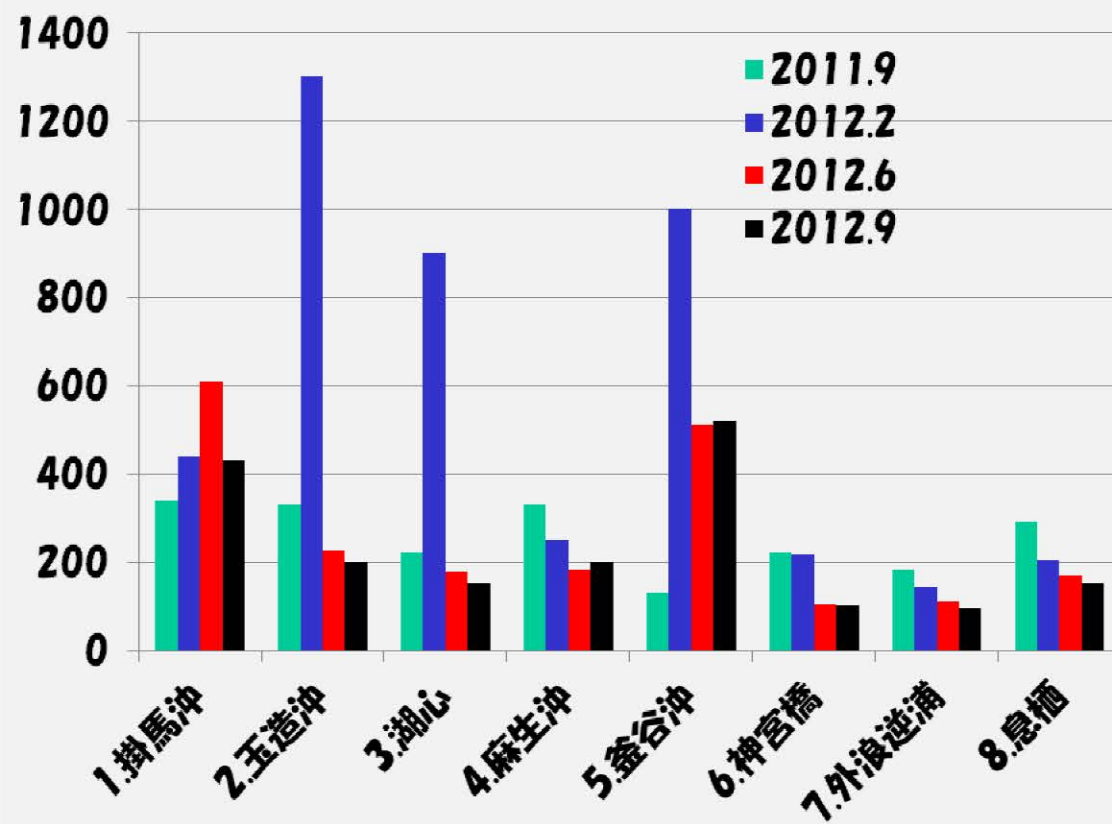
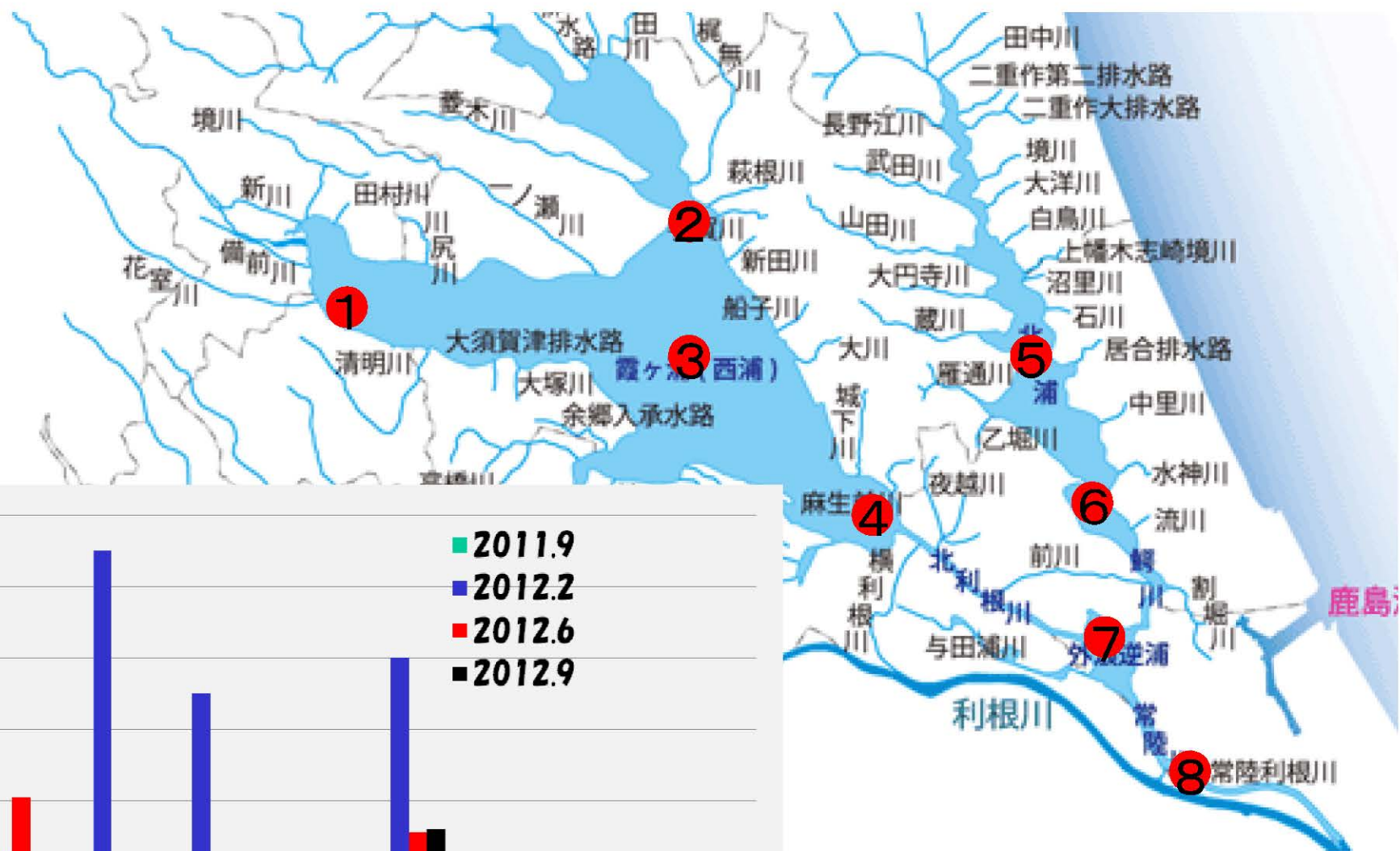
新川縦断調査結果





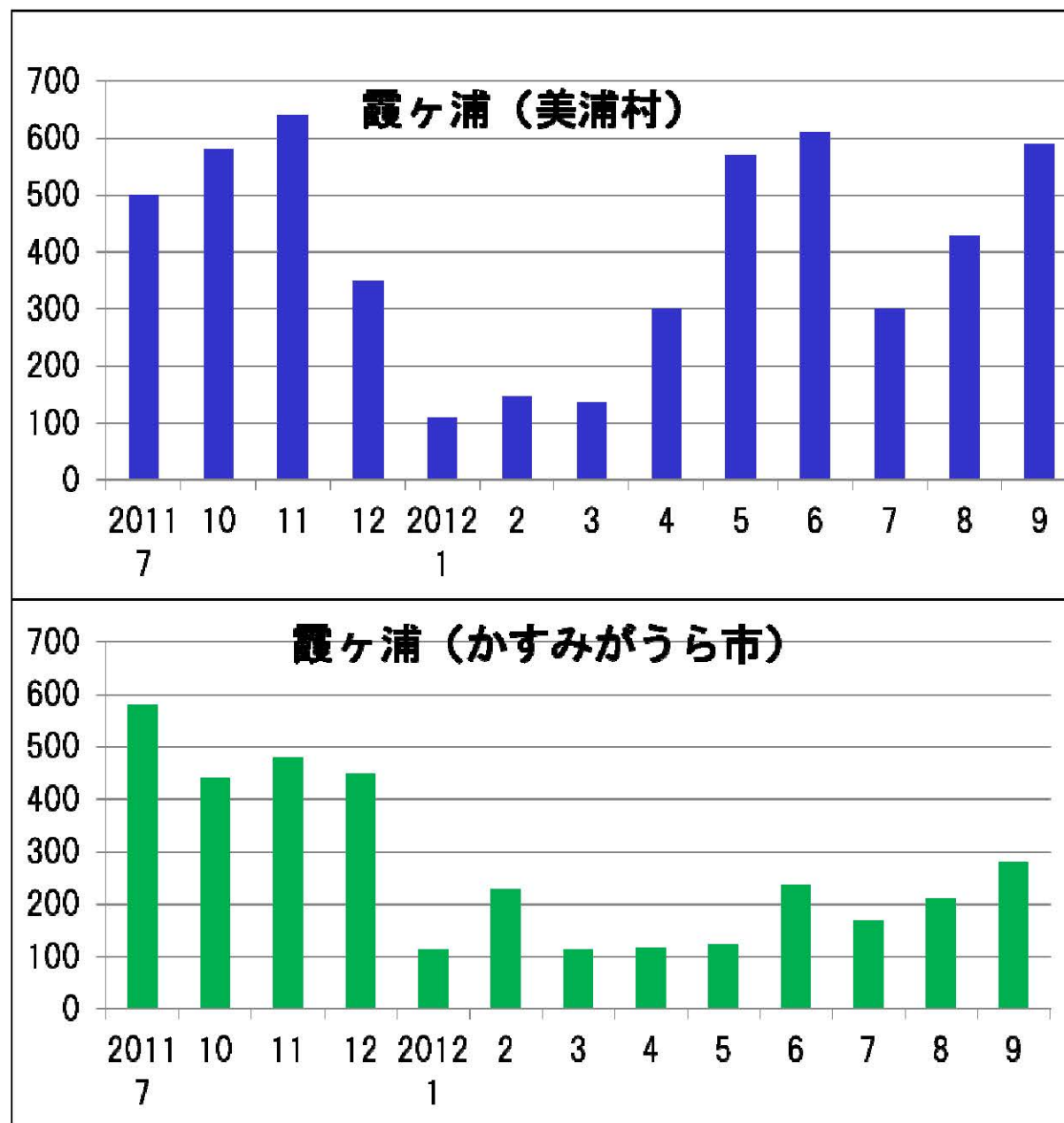
小野川 底泥放射性セシウム モニタリング 地点図





湖内の状況(環境省調査)

浄水発生土のセシウムの推移



浄水発生土は上水道の濾過沈殿時に発生する原水中に含まれていた砂泥などです。

取水地によってセシウム濃度が上下する時期の傾向が異なる。

2012年の冬場に一時下がったが、近頃は上昇傾向にあるようだ。

環境省による湖内の調査結果と
水道取水地では放射性物質の状況が異
なるようであり、

水道取水地へ河川から流れ込む放射性
物質が溜らないようにすることが必要では
ないか。

そして河川からはいまだ高濃度の放射性
物質が流れ込んでいる。